



市民病院

市民病院は市内にあることが全ての大前提では

議員 「市民の命を守る消防、警察は当然市内にある。同じように市民の命を守る市民病院が市外に移転することは考えられない。」といった声を聞く。市民病院は、現在の場所である市内の中心的位置にあることが全ての議論の大前提ではないか。

両病院の中間地点付近で条件が良い候補地に

市 市内5カ所の整備候補地はそれぞれ特有の課題がある中で、両病院の中間地点付近で、より急性期病院として条件が良い一団の土地の確保に責任をもって対応するという神戸市からの提案を信頼し、整備候補地の決定に至った。(森市長)



障害者スポーツ

障害者スポーツの基盤として、協会の設立を

議員 障害者スポーツには多くの競技があり、障害に応じて健常者と共に楽しみ、生きがい、自己実現、社会参加や交流、健康体力の維持増進につながる。運営や指導者の人材育成と活動の基盤として、協会設立が必要では。

(仮称) 障害者スポーツ協会設立を推進する

市 障害者理解と共生社会の実現に向け、令和4年3月に設立準備会を再開し、障害者スポーツへの理解や普及について検討を重ねており、今後、協会設立へと進めていく。三田市スポーツ協会への加盟も視野に、障害者スポーツと障害者理解の促進を図る。(高見副市長)

他の質問 ●三田市におけるGIGAスクール構想の課題と活用について 他1件



医療費助成

中学生まで所得制限なしの医療費無償化を

議員 東京23区で高校生までの医療費を所得制限なしで完全無償化することになったように、全国で無償化が進んでおり、無償化していないことがマイナス要因となりうる。市でも、せめて中学生まで所得制限なしの医療費無償化に戻すべきでは。

ニーズに対応する効果的な少子化対策を検討

市 現行制度において0歳から就学前は完全無償化しており、現時点での見直しは考えていないが、少子化対策及び教育環境対策の全般の検証とともに持続可能性を確保しつつ、課題やニーズに対応する効果的な少子化対策を構築していく。(森市長)

他の質問 ●市職員について 他1件



環境対策

蛍光灯等の回収方法を見直しては

議員 各市民センター等の11カ所に回収拠点を置き蛍光灯等を回収しているが、身近な自治会館等も回収拠点に位置付けるほか、地域に出かけた職員が蛍光灯等を回収するような、市民と一体となった環境に優しい取組ができないか。

資源循環に寄与する取組を構築する

市 新たな回収拠点の設置については、地域の意向を確認し、増設に向けて検討したい。また、職員が外出の機会に回収を支援する仕組みづくりについては、業務に支障のない範囲で職員の自発的な取組ができないか検証したい。(森市長、久高まちの再生部長)

他の質問 ●地震時における家具転倒防止器具の設置について 他2件



国保税

国保税の支払いが困難な市民に寄り添った支援を

議員 持続化給付金や時間短縮協力金等が事業所得に含まれることで、中小事業主の国民健康保険税の負担が特に重くなっている。分納しても払いきれない市民には、今払える分だけでも払えるような、もっと寄り添った支援が必要では。

状況に応じ分かりやすく説明し対応していく

市 コロナ禍における様々な給付金等は、法律により非課税とされるもの以外は税法上課税所得となる。納付が困難な納税者には、減免制度や分納の活用などを提案し、相談者の状況に応じた分かりやすく丁寧な説明を心掛け、対応していく。(高見副市長)

他の質問 ●幼稚園と学校が果たす役割について



市民病院

コミュニティバス等の利便性向上を

議員 市民病院の再編統合は、直通バスの維持と利便性の向上がなければ、市民の理解は得られないのではないかと。コミュニティバス等の導入も検討すべきでは。

予約型の送迎バスの導入も検討する

市 現在の交通アクセスは最低限守り、議員提案のコミュニティバスの検討も含め、予約型の送迎バスの導入や交通事業者等との連携によるバス路線の利便性向上など、主要駅から乗り換え無しでアクセスできるよう計画を進める。交通事業者等と連携し、責任をもって利便性の向上に取り組んでいく。(森市長)

他の質問 ●子供の視力低下について ●職員の職員によるグッドジョブ制度について

